

# 持続的な森林経営の実現に向けた路網整備の推進

森林の有する多面的機能を発揮させるために適切な森林の整備を推進するとともに、持続的な森林経営の実現に向けて、森林施業や木材の輸送等を効率的に実施するためには、重要な生産基盤である路網(林道、森林作業道)の整備を進めていくことが必要です。

路網は、間伐や主伐後の再造林、木材輸送等を効率的に行うためのネットワークであり、林業の最も重要な生産基盤です。

このため、森林整備事業において、丈夫な構造により、長期にわたり使用することができる、それぞれの役割に応じた路網整備を支援しています。

通行を想定する車両・林業機械に応じた道を適切に組み合わせた路網整備を実施



公道

## 路網整備と高性能林業機械を組み合わせた作業システムの導入

路網整備に当たっては、導入する高性能林業機械の性能を最大限発揮させるため、合理的に路網を配置し、素材生産の工程全体を通じて生産性を高めることが必要です。なお、最適な作業システムは、地形・地質、土質等の自然条件等に応じて多様なものが想定され、下に示すのはその一例です。

伐採・造材



ハーベスタ

集材



フォワーダ

運搬



大型トラック

## 林道

### ○林道（適切な森林の整備や地域産業の振興等を図る道）

- ・主に路網の根幹であり、森林施業を行うために利用（基本的に不特定多数の者も利用可能）
- ・木材運搬のためのトラック（20t積トラック等）の走行を想定した規格・構造
- ・森林整備の基盤はもとより災害時の代替路などにも寄与



### ○林業専用道（林道を補完する木材輸送のための道）

- ・専ら森林施業を行うために10t積トラックや林業用車両（大型ホイールフォワーダ等）の走行を想定した規格・構造で、主に森林施業にかかわる者の利用を想定している。



### ○森林作業道（作業システムに対応し、森林施業に使用する細部路網）

- ・森林所有者や林業事業者が森林施業を行うために利用
- ・主として林業機械（2t積程度のトラックを含む）の走行を想定した規格・構造
- ・導入する作業システムに対応し、経済性を確保しつつも繰り返し使用に耐える簡素な土構造の道



## 豪雨等に対応した林道整備の推進

### のり面の強化

のり面の崩壊防止のため、地質・土質の脆弱なのり面に対して安定勾配での切直しやのり面保護工を設置。

のり面保護工



### 路面の強化

豪雨等による路面の侵食や泥濘化（ぬかるむこと）の防止、自動車通行による損傷の抑制のため、堅固な路面を構築

コンクリート路面工



### 排水機能の強化

豪雨時の流下土砂による水路や暗渠の閉塞・越水を防ぐため、十分な機能を有する排水施設を設置。

暗渠工

